

読書活動推進へ向けた本校の取組

1 学校の概要

- ① 所在地 福島県相馬市北飯淵字阿弥陀堂 200
- ② 学級数・生徒数 13クラス 461人（令和4年12月末現在）
- ③ 蔵書数 20,709冊（令和4年3月末現在）

2 取り組み内容

（1）生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

①ブックトークの実施

朝の SHR 前の時間（朝自習）を利用して、クラスごとに年2回ずつ、ブックトーク（本の紹介）を実施。1回目は図書部教員が設定されたテーマに合わせて行う。2回目は3年次に対しては校長が、1・2年次に対しては2・3年次の図書委員が担当する。

○1回目のテーマ

- 1年次対象 「フリーテーマ」
- 2年次対象 「修学旅行」
- 3年次対象 「進路や職業」



○紹介した本の例

- ・図書部教員 『なぜ僕らは働くのか』（池上彰） 『地球の歩き方 京都』
- ・図書委員 『変な家』（雨穴） 『こころ』（夏目漱石）
『転生したらスライムだった件』（伏瀬） など

②展示コーナーの設置

○月替わり展示コーナーの設置

今年度の展示例

- ・ブックトークで紹介された本
- ・特集「汐見夏衛」
- ・「文豪を読んでみよう」
- ・修学旅行関連



常設展示コーナー



みんなが最近読んだ本コーナー

○常設展示コーナーの設置

- ・「映像化された本」
映画化やドラマ化された本を、実写化作品を宣伝する帯とともに展示
- ・「話題の本」
各賞受賞本、新聞書評や「ダヴィンチ」の Book of the Year で紹介された本を展示
- ・「みんなのおすすめ」
教職員や生徒から推薦された本や、図書委員会だよりなどで紹介した本などを展示
- ・「みんなが最近読んだ本」
返却されたばかりの本を展示

③図書館前の廊下壁面を利用した掲示

- ・新着図書についている帯を利用した新着案内
- ・本校生の部活動での活躍などが取り上げられた新聞記事を掲示する「相馬総合高NEWS」
- ・学校図書館向けの壁新聞「空想科学図書館通信」 など

④検索用パソコンの設置

図書館内に自由に使用できる蔵書検索用パソコンを設置している

⑤リクエストBOXの設置

図書館内にリクエストBOXを設置し、購入図書の希望を募っている

⑥「図書館だより」の発行

- ・月1回、学校司書による発行。新刊案内や図書館からのお知らせなどを掲載
- ・全校生徒・教職員に配布。カラー版を校舎内に掲示している

⑦「図書委員会だより」の発行

- ・年5回、年次の図書委員による発行。各教室や昇降口、図書館入り口などに掲示
- ・図書委員や教員のおススメ本を紹介している



図書委員会だより

(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

①朝読書の実施

- ・年5回（3年次生は4回）、定期考査終了後の4日間、朝自習の時間を利用して、全校で朝の読書活動を実施している
- ・全国学校図書館協議会の集団読書テキストを使用

②貸出ランキング

貸出冊数が多い生徒を年度末に表彰

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

①国語科と連携した取組

- ・国語の授業で、学校図書館内にある本のPOPを作成
- ・作成したPOPは図書館に展示するとともに、一部を図書館報に掲載



(4) その他

① 図書館報の発行

- ・ 年度末に発行
- ・ 図書委員による教員へのインタビューや教員の読書に関するエッセイ、図書委員のおすすめ本、読書アンケートの結果、生徒作成のPOPなどを掲載

② 1年次生への図書館オリエンテーションの実施

③ 3年次生への図書館ガイダンスの実施

- 課題研究を始めるにあたって、図書館での調べ方に関するガイダンスを実施

④ 授業協力

- ・ 「子どもの発達と保育」の授業における、絵本の読み聞かせの実演・読み方アドバイス
- ・ 調べ学習時の資料提供とサポート

⑤ 「本の福袋」

- ・ 冬季休業前、長期貸し出しの際に実施
- ・ 「プレミアム」「ラブストーリーが読みたい人向け」「高校生に人気の本」「イヤミスな本」「ミステリー」など、10種類のタイトルを用意し、中身が見えない福袋として貸し出し
- ・ 1袋には3冊程度の本を入れた